



BRITA Japan 株式会社
2019年4月8日

BRITAJapan が社会人の水分補給に関する意識調査を実施 社会人の通勤ストレスの原因第1位は荷物の重さ つぎ足して必要な分だけ持ち運べる“リフィル型マイボトル”が求められている！

増税前に約8割の人が節約を意識 飲料代だけでも毎月自由に使える金額の約1割も占めている

経済性やエコの観点などでマイボトルを持ち運んでいるのに追加で飲料を購入している
“にわかマイボトラー”が7割超え！

ドイツ生まれの家庭用浄水器メーカーBRITA Japan 株式会社(本社:東京都中央区銀座、代表取締役社長:マイケル・マギー、以下 BRITA)は、あらゆる方の多様なライフスタイルにおける快適な水分補給をサポートする製品を展開しています。通勤時などの外出時の水分補給にも最適な、持ち運びができる浄水フィルター付きボトル fill&go シリーズを展開している BRITA は、この度、新たな生活が始まる新生活シーズンに合わせて、全国の社会人男女計400名を対象に、社会人の水分補給に関する意識調査を実施しました。

【調査概要】

- 調査名 : 社会人の水分補給に関する意識調査
- 調査地域 : 全国
- 調査期間 : 2019年3月2日から2019年3月3日
- 調査対象 : 20代から50代の男女
- 調査方法 : インターネットによるアンケート
- 回答数 : 400名

※本リリースに含まれる調査結果をご掲載頂く際は、必ず「BRITAJapan調べ」と明記下さい。

調査結果概要

【トピック1】増税で節約意識が高まる人は8割以上。

節約したい出費の1位は「飲食費」の一方で、飲料代が自由に使える金額の約1割も占めている！

83.5%の人が、増税によって節約意識が高まると回答し、飲食代を節約したいと考える人が多い一方で、飲料代だけで、毎月自由に使える全体金額の約1割も占めており、飲料に関わる出費は侮れないということが分かった。

【トピック2】7割以上の人がマイボトル・水筒購入経験あり。購入理由は「経済的」「エコ」が上位。

73.3%の人がマイボトル・水筒購入の経験があると回答。購入理由の1位は「経済的」となり社会人は節約という観点でマイボトル・水筒を購入している人が多い。また昨今のエコブームもマイボトル・水筒購入を後押ししていると推測できる。

【トピック3】マイボトル・水筒を持ち運んでいるが、量が足りずに追加で飲み物を購入してしまう

「にわかマイボトラー」が約8割も

マイボトル・水筒を持ち運んでいるが、量が足りなくなって追加で飲み物を購入した経験がある人は78.2%もいることが判明。また、マイボトル・水筒を購入(所持)したが、現在継続利用していない脱落者が約4割もおり、マイボトルをいかにできていない実態が浮き彫りになった。

【トピック4】社会人が感じる通勤ストレスの第1位は「荷物の重さ」！

通勤にストレスを感じることがある人のストレス原因を聞いたところ、30.3%の人が「荷物が重い」ことをあげ、1位に。

【トピック5】社会人には必要ときに継ぎ足して、必要な分だけ持ち運べる“リフィル型マイボトル”が求められている！

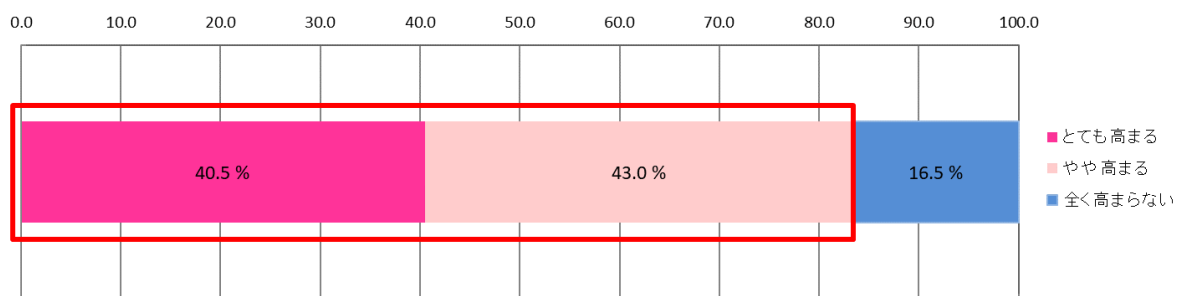
経済的かつエコというマイボトル・水筒のメリットをいかしながら、重さのストレスを解決できるマイボトル・水筒が社会人から需要が高いと推測される。

【トピック1】増税で節約意識が高まる人は8割以上。

節約したい出費の1位は「飲食費」の一方で、飲料代が自由に使える金額の約1割も占めている！

増税により節約意識が高まるかを聞いた質問で、「とても高まる」「高まる」と答えた人は合わせて83.5%おり、そのうち、節約したいと考えている項目として「飲食費」と答えた人の割合が76.0%で一番多い結果になりました。「飲食費」を節約したいと考える人が多い一方で、毎月自由に使える金額が平均36,374円のうち、飲料代にかけられる金額が平均3,353円という結果になり、飲料代だけで月に自由に使える金額の約1割も占めているという実情が発覚しました。この結果から、節約意向とは相反して月の飲料の出費は侮れないという結果が分かりました。

Q.2019年10月より消費税が増税となりますが、あなたは増税によって「節約意識」は高まりますか。 [SA]
(n=400)



毎月自由に使える金額のうち飲料に使っている金額の割合 【FA】n=400

1ヶ月の飲料代は、1ヶ月自由に使えるお金の内

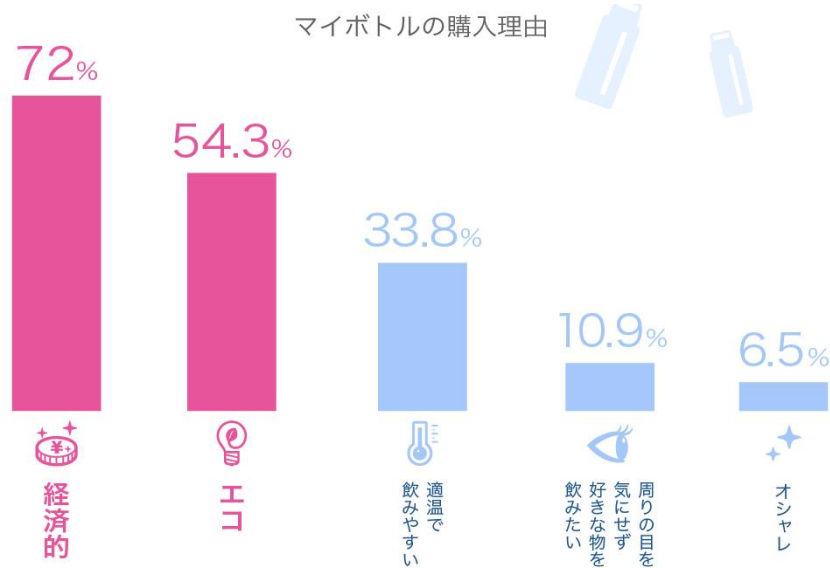


【トピック2】7割以上の方がマイボトル・水筒購入経験あり。購入理由は「経済的」「エコ」が上位。

マイボトル・水筒を購入(所持)したことがあるかという質問に対し、73.3%の人が「ある」と回答しました。購入(所持)の理由は「経済的だから」が1位で72.0%、次いで「エコだから」が54.3%という結果になりました。前述の節約したい項目のうち飲食費が1位であったことから、マイボトル(水筒)は節約という観点で支持されているということが分かります。また、昨今のエコブームもあり、エコの観点からもマイボトル・水筒が購入(所持)を後押しし

ていることも分かりました。

マイボトル・水筒を購入(所持)したことがある人に聞いた、購入(所持)した理由 【MA】n=293



【トピック3】マイボトル・水筒を持ち運んでいるが、量が足りずに追加で飲み物を購入してしまう「にわかマイボトラー」が約8割も

マイボトル・水筒を購入(所持)したことが「ある」と回答した人に対し、マイボトル・水筒を持ち運んでいるが、量が足りなくなって追加で飲み物を購入した経験があるかを尋ねた設問では、「よくある」「たまにある」と答えた人の割合が、合わせて78.2%という結果になりました。

また、マイボトル・水筒を購入(所持)したことがあると答えた人に対し、現在継続して利用しているかと質問したところ、「あまり使っていない」「使っていない」と回答した人の割合が合わせて約4割いました。7割以上の方がマイボトル・水筒を購入(所持)したことがあると回答したほど、マイボトル・水筒に対する需要は高いが、利用をやめてしまう脱落者は約4割もいるという実情が判明しました。

経済性・エコの観点からマイボトル・水筒を持っていても、追加で飲料を購入してしまったり、結局利用をやめてしまったりする人がいるという結果から、マイボトル・水筒の利点を活かさきれていない実態があるということが浮き彫りになりました。

マイボトル・水筒を購入(所持)したことがある人に聞いた、量が足りなくなって、追加で飲み物を購入した経験 【SA】n=293



マイボトル・水筒を購入(所持)したことがある人に聞いた、マイボトル・水筒の継続利用率 【SA】n=293

マイボトルを購入したが、使っていない

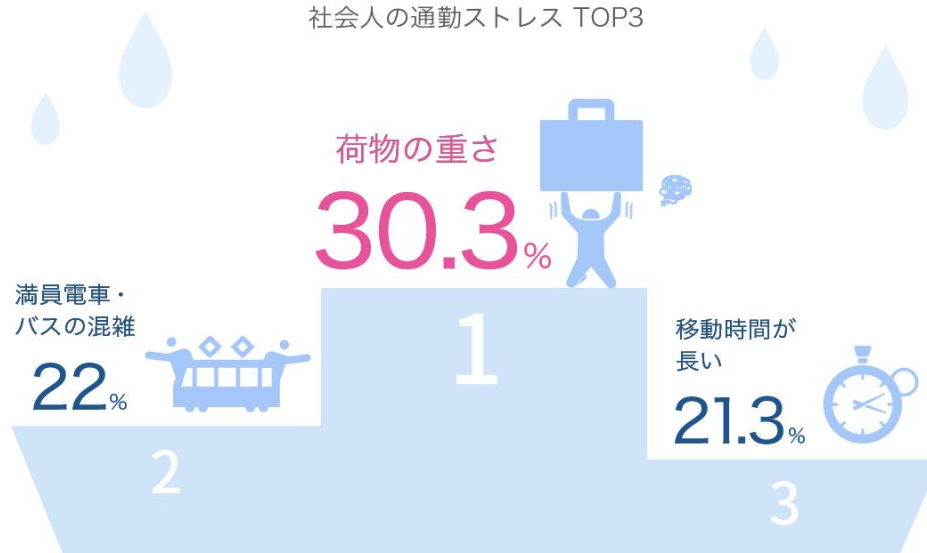


トピック4: 社会人が感じる通勤ストレスの第1位は「荷物の重さ」!

普段の通勤にストレスを感じたことがある人にストレスの原因を質問したところ、「荷物が重い」ことを挙げた人の割合が 30.3%で、一番多い結果となりました。マイボトルや水筒は経済性・エコの観点から広く受け入れられている一方で、重いマイボトル・水筒を使用してしまうことで、社会人の通勤時のストレス要因になってしまうという課題があることが分かります。

普段の通勤にストレスを感じている人のストレス原因 【MA】n=400

社会人の通勤ストレス TOP3



【トピック5】社会人には必要なときに継ぎ足して、必要な分だけ持ち運べる“リフィル型マイボトル”が求められている!

今回の調査結果を踏まえ、マイボトル・水筒が本来持っている「経済的」「エコ」などのメリットを兼ね備えつつ、持ち運び時に発生する「量が足りない」「重い」などの問題を解決する様な、どこでもつぎ足すことができ、必要な分だけ持ち運べる“リフィル型マイボトル”がこれからの社会人に必要なスマートなアイテムになると推測され

ます。

BRITAが展開する「fill&go」「fill&go Active」は、ろ過フィルターである「マイクロディスク カートリッジ」をフタ部に装着し、水道水を飲む瞬間にろ過しておいしくする浄水フィルター付きボトルです。「fill&go」は170g、「fill&go Active」は146gと一般的なステンレス製の水筒よりも軽く、さらに、水道水さえあればいつでもどこでも水を注ぎ足すことができるため、必要な量だけの水を入れて軽く持ち運んだり、移動中は空で持ち運び、オフィスに着いてから水を注いで飲んだりすることができ、社会人の通勤のストレス原因となる荷物の負担も軽減できます。また、量が足りなくなっても、水道水を注ぎ足せばいつでもおいしい水が飲めるため、ペットボトルなどの飲み物を追加購入する必要もなく、節約にも繋がります。また、ろ過フィルター1枚で150L分の水をろ過することができ、「fill&go」「fill&go Active」で水を飲めば、1Lあたり約4.5円と経済的です。また、ペットボトルごみを大幅に減らすことができるエコなマイボトルです。

【fill&go概要】

- 製品名 : fill&go(フィルアンドゴー) ブルー
fill&go(フィルアンドゴー) ピンク
fill&go(フィルアンドゴー) ライム
fill&go(フィルアンドゴー) パープル
- 参考価格 : オープン価格 マイクロディスク カートリッジ1個付き
- 本体サイズ : 幅74mm x 奥行74mm x 高さ230mm
- 容量 : 全容量0.6ℓ
- 取り扱い店舗 : 全国の主要スーパー、主要ホームセンター、専門店、家電量販店など



【fill&go Active概要】

- 製品名 : fill&go Active(フィルアンドゴー アクティブ) ブルー
fill&go Active(フィルアンドゴー アクティブ) ピンク
fill&go Active(フィルアンドゴー アクティブ) ライム
fill&go Active(フィルアンドゴー アクティブ) パープル
- 参考価格 : オープン価格 マイクロディスク カートリッジ1個付き
- 本体サイズ : 幅75mm x 奥行75mm x 高さ235mm
- 容量 : 全容量0.6L
- 取り扱い店舗 : 全国の主要スーパー、主要ホームセンター、専門店、家電量販店など
- URL : <http://d.brita.co.jp/fillandgo/>



【BRITAについて】

ブリタは、1966年ドイツで誕生。

現在では、25の子会社、45のパートナーシップのもと、世界66カ国以上で広く親しまれている浄水器のリーディングブランドです。欧州では家庭用浄水器だけでなく、業務用ろ過システムの開発、製造、販売も展開しています。

会社名 : BRITA Japan株式会社(ブリタ・ジャパン株式会社)

本社 : 東京都中央区銀座3-15-10菱進銀座イーストミラービル7F

ウェブサイト: www.brita.co.jp